

# 九州歯科大学の中興の祖 永松勝海先生



本学校友で、大学の理事長また学長・校長をつとめた方は、次の8氏である（卒業回数順・敬称略）。

- ・永松 勝海（7回卒・大分）  
九州歯科医学専門学校校長，九州歯科大学学長
- ・堀 武（15回卒・神奈川）  
日本女子衛生短期大学学長，神奈川歯科大学学長
- ・周 汝川（29回卒・台湾）  
中山医学大学の創立者，中山医学大学理事長
- ・木本 鎮雄（特別会員・東京）  
神奈川歯科大学の創立者，学校法人神奈川歯科大学理事長
- ・渡辺 享（32回卒・北海道）  
東日本学園大学（現，北海道医療大学）の創立者，学校法人東日本学園大学理事長
- ・木暮 山人（38回卒・新潟）  
明倫短期大学の創立者，学校法人明倫短期大学理事長
- ・羽坂 勇司（41回卒・神奈川）  
学校法人青山学院理事長
- ・田久昌次郎（69回卒・福島）  
昌平齋理事長，東日本国際大学学長，いわき短期大学学長

昭和36年（1961），私の3年生のときオール・デンタルが小倉で開催された。40年代中頃に改称されて，今の歯学体（全日本歯科学生体育大会）になる。

私は，九州歯科大学講堂で催された開会式に参加した。歓迎の挨拶をした主管校の学長を，遠く壇上に仰ぎみた記憶がある。だいぶ後になって，あのとときの学長が，本学7回卒の永松勝海（かつみ）先生と知った。先生は昭和39年に亡くなられたので，親しくお会いする機会はなかった。

大正3年に福岡市に創立された私立九州歯科医学学校は，内紛により昭和4年に破産宣告をうける。本学助手を経て，大正14年に九州歯科医学専門学校に赴任していた永松勝海は東奔西走し，同校は奇跡的に破産確定を免れる。昭和6年に37歳にして第三代校長に就く。彼は11年に小倉市真鶴町に校舎を新築移転し，同校を立てなおして“中興の祖”と謳われる。

その後，永松は昭和19年まで校長をつとめたが，同年に同校は福岡県に移管され，医学科を併設して福岡県立医学歯学専門学校となる。ところが，戦後のGHQの査定により，医学科はB級となったが，永松の尽瘁により歯学科は辛うじてA級に残る。

昭和22年に3年足らずで医学科を廃止し，福岡県立歯科医学専門学校と改称し，永松が初代校長になる。さらに24年に新制九州歯科大学に昇格し，彼は初代学長に就任する。69歳で逝去するまで，長らく学長の任にあった。

斯く九州歯科大学百年の歴史にあって，永松は校長15年・学長15年，計30年をつとめた。大学史を知る卒業生は，「永松先生がいなかったら，今の九州歯科大学はなかった」と述懐する。

（写真・永松勝海学長「九州歯科大学五拾年史」より）